

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年 2月29日
 所管課名:企画調整課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:宝塚アーバンサービス株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市末広町3番78号
(3)設立年月日:平成6年4月1日
(4)ホームページアドレス:http://www.

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	30,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

①水道事業における給水装置等補修工事、設計業務、施行管理業務、施設維持管理業務及びメーター計量業務
②下水道事業における設計業務、施行管理業務、施設調査業務及び水洗化促進業務
③宝塚市から委託を受けている、公園・図書館・公民館等公共施設の維持管理業務
④駐車場経営業務
⑤地方自治法第2条第2項に規定されている事務で、宝塚市から委託を受けている受託業務
⑥自家用自動車のリース業務
⑦上記業務に附帯する一切の業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	62,477	60,064	61,604
	負債	7,501	4,909	5,615
	資本	54,975	55,155	55,989
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	138,876	131,272	129,016
	経常損益	3,704	506	1,578
	当期損益	1,972	179	833
	減価償却前当期損益	3,305	1,435	2,033

5 外郭団体への関与の状況

(1)公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)	0	0	0	
②利子補給金	0	0	0	
③税の減免額	0	0	0	
④その他()	0	0	0	
合計	0	0	0	
(参考)委託料	132,316	129,841	121,722	

(2)その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
②貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
③出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	30,000	30,000	30,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経理規程第4条において「経理に関する事務及び業務については、適正な内部牽制制度を設けて公正で能率的な運営が行われるよう務めなければならない。」と規定されているが、制度としては設置されていない。組織の実態にあった合理的でかつ牽制機能が働くような方法の検討が必要である。(平成13年4月13日 市監査委員監査)

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
所管課名:情報政策課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:株式会社 エフエム宝塚
(2)外郭団体所在地:宝塚市逆瀬川1-11-1
(3)設立年月日:平成12年4月19日
(4)ホームページアドレス:http://835.jp/

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	80,000
うち宝塚市の出資額	40,000
宝塚市の出資割合(%)	50

3 事業内容

①放送法による一般放送事業
②放送番組及び広告宣伝の企画、制作並びに請負
③権事の企画、制作及び運営
④書籍、雑誌その他の印刷物の企画、制作及び出版
⑤情報処理サービス業及び情報提供サービス業
⑥コンピュータのソフトウェアの開発
⑦電気工事業
⑧放送利用料の徴収受託業務
電気工事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	77,674	76,353	81,886
	負債	19,890	17,564	18,811
	資本	57,784	58,789	63,075
	累積欠損金	22,217	21,212	16,924

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	67,105	71,099	64,998
	経常損益	△4,463	1,006	4,287
	当期損益	△4,463	1,006	4,287
	減価償却前当期損益	539	1,006	4,287

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)	0	0	0	
②利子補給金	0	0	0	
③税の減免額	0	0	0	
④その他()	0	0	0	
合計	0	0	0	—
(参考)委託料	54,095	54,095	54,095	コミュニティFM放送番組制作及び放送業務委託(広報課)

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
②貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
③出資金	40,000	40,000	40,000	
合計	40,000	40,000	40,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

H18年度決算及び平成19、20年度見込みについて、平成20年3月に事務調査を行う予定。
--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、4 財務状況の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年 2月29日
所管課名:管財用地課

1 第三セクター等の名称等

(1)第三セクター等名:宝塚市土地開発公社
(2)第三セクター等所在地:宝塚市東洋町1番1号
(3)設立年月日:昭和48年4月6日
(4)ホームページアドレス: http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/sub_file/01020104000000-3a.html

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	5,000
うち宝塚市の出資額	5,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

① 道路、公園その他の公共施設または公用施設の用に供する土地、公営企業用に供する土地、地域の自然環境を保全することが特に必要な土地、史跡、名勝または天然記念物の保護または管理のために必要な土地、航空機騒音の障害を防止し、または軽減するために特に必要な土地の取得、造成その他の管理及び処分
② 住宅用地の造成事業並びに地域開発のためにする工業用地、及び流通業務団地の造成事業
③ 国、地方公共団体その他公共的団体の委託に基づき土地の取得の斡旋、調査測量その他これらに類する業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	15,856,735	13,077,889	13,834,760
	負債	14,938,227	12,892,413	13,605,155
	資本	918,508	185,476	229,605
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	3,404,477	3,398,739	667,442
	経常損益	258,172	△ 511,241	44,077
	当期損益	239,872	△ 732,531	44,129
	減価償却前当期損益	239,872	△ 732,531	44,129

5 第三セクター等への関与の状況

(1)公約支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 補助金(助成金)				
② 利子補給金	51,183	48,209	42,118	公社の経営健全化促進のため、債務保証を付した金融機関からの借入金に係る利子の全額を補給
③ 税の減免額				
④ その他()				
合計	51,183	48,209	42,118	-
(参考)委託料				

(2)その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
② 貸付金残高	0	0	2,000,000	本年度中の貸付状況:6/15~2/28*5,000,000千円、3/1~3/20*3,500,000千円、
③ 出資金	5,500	5,000	5,000	
合計	5,500	5,000	2,005,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

平成18年11月29日出資団体監査、財政援助団体監査の結果
(公社の経営健全化に関する意見及び要望事項等)
市は、平成18年3月29日に新たに公社経営健全化団体の指定を受けています。その経営健全化計画(平成18年度から平成22年度まで)によると、平成22年度までに公社保有土地の簿価総額を約24億7,100万円に減少させるため、市が公社保有の土地を逐次取得することとされています。
平成16年12月27日付け総務省の「土地開発公社経営健全化対策について」により、市が経営健全化計画に基づいて、民間事業者への貸付により有効利用を図ることを目的として、公社の債務保証等対象土地を取得する場合も起債対象とされることとなったため、この計画では市が取得した後、民間への貸付を予定している土地が含まれ、その起債総額は約69億円にのぼり、巨額の後年度負担が生じます。
市と公社の財務を連結ベースで見ると、早期に市が公社保有土地を取得することにより公社の負担を減じることがやむを得ない措置であると考えられますが、取得した以上は、これらの土地を利活用目的のないまま放置せず、最大限有効活用するよう努めてください。

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

〈貸借対照表〉資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

〈損益計算書〉損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月13日
 所管課名:環境総務課

1 第三セクター等の名称等

(1)第三セクター等名:宝塚市都市環境サービス株式会社
(2)第三セクター等所在地:宝塚市小浜1丁目2番15号
(3)設立年月日:平成8年2月29日
(4)ホームページアドレス:無し

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	30,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

① し尿収集運搬業務
② 浄化槽点検、清掃業務
③ こみ箱こみ収集業務
④ 散乱ごみ収集業務
⑤ 公衆便所清掃及び保守点検管理業務
⑥

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	10,797	7,451	23,539
	負債	913	1,061	4,537
	資本	9,884	6,390	19,002
	累積欠損金	20,116	23,610	10,998

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	54,611	59,307	78,480
	経常損益	△2,937	△3,484	13,076
	当期損益	△2,933	△3,494	12,612
	減価償却前当期損益	△1,100	△2,625	12,691

5 第三セクター等への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 補助金(助成金)				
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料	47,382			

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
② 貸付金残高				本年度中の貸付状況: 4/2~3/31 20,000千円
③ 出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	30,000	30,000	30,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
 所管課名:(新霊園担当)

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:財団法人宝塚市都市整備公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市東洋町1番1号
(3)設立年月日:昭和45年5月29日
(4)ホームページアドレス:http://www.city.takarazuka.hyogo.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	1,500
うち宝塚市の出資額	1,500
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

①公園基地の建設、貸出し及び管理運営
②市営霊園及び市営火葬場の管理運営の受託
③市立小学校及び市立中学校の校舎等の建設・貸付及び譲渡
④市営の自転車等駐車場及び放置自転車等返還所の建設及び管理運営の受託
⑤放置自転車等の移動、返還等の補助業務の受託
⑥前各号に掲げる事業に関する必要な事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	1,452,531	1,467,657	2,566,890
	負債	1,424,727	1,435,352	2,534,566
	資本	27,804	32,305	32,324
	累積欠損金	27,804	32,305	32,324

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	29,033	31,563	22,415
	経常損益	3	4,501	19
	当期損益	3	4,501	19
	減価償却前当期損益	3	4,501	19

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)	0	0	0	
②利子補給金	0	0	0	
③税の減免額	0	0	0	
④その他()				
合計	0	0	0	
(参考)委託料	29,030	25,869	22,393	放置自転車等対策等事業委託費等

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高	3,258,000	1,422,000	1,480,000	新公園基地整備事業用資金
②貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
③出資金	1,500	1,500	1,500	
合計	3,259,500	1,423,500	1,481,500	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

公社は、設立目的に沿って運営され、市が損失補償する借入金は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認められた。

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

〈貸借対照表〉資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

〈損益計算書〉損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
 所管課名:いきがい福祉課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:財団法人宝塚市保健福祉サービス公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市小浜4丁目5-6
(3)設立年月日:平成7年3月9日
(4)ホームページアドレス:http://www.takarazuka-fukushi.or.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	200,000
うち宝塚市の出資額	200,000
宝塚市の出資割合(%)	100%

3 事業内容

① 高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発及び市民に対する介護技術等の研修
② 老人訪問看護事業及び訪問看護事業
③ 介護老人保健施設の管理運営・短期入所療養介護事業・通所リハビリテーション事業
④ 訪問介護事業
⑤ 通所介護事業
⑥ 宝塚市からの高齢者等に対する保健福祉サービスに関する事業の受託

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	435,837	449,421	500,909
	負債	113,260	130,189	161,956
	資本	322,577	319,232	338,953
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	908,809	895,765	993,206
	経常損益	△2,841	△3,344	19,720
	当期損益	△2,841	△3,344	19,720
	減価償却前当期損益	6,079	3,477	23,652

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 補助金(助成金)	2,000	0	0	固定資産取得事業費の一部補助
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他()				
合計	2,000	0	0	-
(参考)委託料	56,441	64,161	81,844	

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
② 貸付金残高				本年度中の貸付状況:
③ 出資金	300,000	300,000	300,000	内1億円は運用財産である。
合計	300,000	300,000	300,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

所管課が監査を行ったところ、概ね適正に執行されていた。

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。
 (貸借対照表)資本→正味財産の部合計 (損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書
 累積欠損金→正味財産の部合計 総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))
 経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)
 当期損益→当期正味財産増減額
 減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
所管課名:農政課

1 第三セクター等の名称等

(1) 第三セクター等名:宝塚山本カーテン・クイティ株式会社
(2) 第三セクター等所在地:宝塚市山本東2丁目2番1号
(3) 設立年月日:平成11年11月11日
(4) ホームページアドレス:http://www.aiaipark.co.jp

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	50,000
うち宝塚市の出資額	25,500
宝塚市の出資割合(%)	51

3 事業内容

① 植木・花き産業の振興に関すること。
② 植木・花きの情報の収集及び分析、並びに植木・花きに係る研究、開発及び研修に関すること。
③ 多目的教室、モデル展示場、駐車場の利用許可並びに利用料金の徴収、減免及び還付に関すること。
④ 施設及び附属施設の維持管理に関すること。
⑤ 自主事業の実施運営
⑥ その他園芸振興センターの管理運営に必要な業務

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	65,708	79,573	94,916
	負債	36,298	36,398	48,865
	資本	29,410	43,175	46,051
	累積欠損金	20,590	6,825	3,949

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	262,219	255,337	266,588
	経常損益	12,981	13,994	5,813
	当期損益	15,739	13,764	5,093
	減価償却前当期損益	17,565	15,368	6,779

5 第三セクター等への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 補助金(助成金)	0	0	0	
② 利子補給金	0	0	0	
③ 税の減免額	0	0	0	
④ その他(貸付金)	0	0	0	
合計	0	0	0	
(参考)委託料	14,182	13,621	13,000	園芸振興、地域振興、園芸アドバイザー及びオープンガーデン普及促進事業等委託

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
② 貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
③ 出資金	25,500	25,500	25,500	
合計	25,500	25,500	25,500	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

会社は設立目的に沿って運営され、出納その他の事務についてもおおむね適正に執行されていると認められました。(平成17年12月27日地方自治法199条第7項に基づく市監査委員による監査結果)

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
 所管課名:国際文化課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:(財)宝塚市文化振興財団
(2)外郭団体所在地:宝塚市栄町2丁目1-1ツリオ3F
(3)設立年月日:平成6年4月1日
(4)ホームページアドレス:http://www.takarazuka-c.jp/

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	401,491
うち宝塚市の出資額	401,491
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

① 芸術文化鑑賞事業の開催
② 地域の文化活動の育成及び援助
③ 地域の文化に関する情報の収集及び提供
④ 市の芸術文化事業及び市立文化施設の管理運営の受託
⑤ その他目的を達成するために必要な事業
⑥

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	448,812	454,768	476,002
	負債	21,600	18,620	20,919
	資本	427,212	436,148	455,083
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	214,780	216,568	281,321
	経常損益	△65,378	8,937	18,434
	当期損益	△65,379	8,937	18,434
	減価償却前当期損益	△65,379	8,937	18,434

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 補助金(助成金)	80,673	82,598	0	
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他()				
合計	80,673	82,598	0	-

(参考)委託料

	98,102	94,035	182,016
--	--------	--------	---------

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
① 損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
② 貸付金残高	0	0	0	本年度中の貸付状況:
③ 出資金	401,491	401,491	401,491	
合計	401,491	401,491	401,491	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

市監査委員においては、出捐金は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね良好に執行されていると認められた。所管課においても、適正に事務が執行されていると認めた。

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
所管課名:市街地整備課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:逆瀬川都市開発株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市逆瀬川1-11-1 アピア2
(3)設立年月日:昭和60年12月7日
(4)ホームページアドレス:http://www.apia1-2.com(但しアピアホームページ)

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	246,000
うち宝塚市の出資額	30,000
宝塚市の出資割合(%)	12

3 事業内容

①不動産の売買、賃貸および管理業務
②駐車場、駐輪場の管理運営業務
③商業施設、文化教養施設、娯楽施設及びスポーツ施設の管理運営業務
④店舗販売の促進企画、事務、調査研究及び指導業務
⑤都市計画、都市再開発の計画、調査研究及び指導業務
⑥衣料品、日用雑貨、飲食料品の販売及び当選金附証票の受託販売 その他

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	1,135,648	1,022,245	902,198
	負債	836,841	720,111	595,410
	資本	298,807	302,134	306,788
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	417,131	403,838	373,435
	経常損益	23,314	5,746	2,779
	当期損益	2,836	3,326	4,654
	減価償却前当期損益	23,135	20,141	19,763

5 外郭団体への関与の状況

(1)公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)				
②利子補給金				
③税の減免額				
④その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料				

(2)その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高				
②貸付金残高	200,000	200,000	200,000	本年度中の貸付状況:
③出資金	30,000	30,000	30,000	
合計	230,000	230,000	230,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経費節減に取組、経営改善に努力する必要がある。

7 その他特記事項

逆瀬川都市開発株式会社を中心となり、核店舗のリビン撤去後の逆瀬川地域の活性化を図るため宝塚まちづくり株式会社を平成19年5月に設立、今後アピア1.2のリニューアル事業を実施しリニューアルオープン後新会社が逆瀬川都市開発株式会社の機能を引き継ぐ予定。
--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
 所管課名:市街地整備課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:ソリオ宝塚都市開発株式会社
(2)外郭団体所在地:宝塚市栄町2丁目1番1号
(3)設立年月日:平成4年4月23日
(4)ホームページアドレス:http://www.

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	1,851,500
うち宝塚市の出資額	915,000
宝塚市の出資割合(%)	49.42%

3 事業内容

①不動産賃貸業務
②駐車場運営業務
③施設管理業務
④TMO業務
⑤
⑥

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	5,117,207	4,988,818	4,186,239
	負債	2,522,344	2,331,860	2,202,604
	資本	2,594,862	2,656,958	1,983,635
	累積欠損金	0	0	0

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	884,912	850,363	821,687
	経常損益	133,384	118,794	129,906
	当期損益	75,613	62,582	△671,617
	減価償却前当期損益			

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)	17,611	20,836	13,773	TMO補助金
②利子補給金				
③税の減免額				
④その他()				
合計	17,611	20,836	13,773	-
(参考)委託料	41,483	39,391	18,108	公共施設管理

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高				
②貸付金残高				本年度中の貸付状況:
③出資金	915,000	915,000	915,000	
合計	915,000	915,000	915,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

経営状況と財務状況の分析を行い、企業体質を強化し堅実な経営に努める必要がある。

7 その他特記事項

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

(貸借対照表)資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

(損益計算書)損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

外郭団体経営等状況表

作成年月日:平成20年2月29日
 所管課名:スポーツ振興課

1 外郭団体の名称等

(1)外郭団体名:(財)宝塚市スポーツ教育振興公社
(2)外郭団体所在地:宝塚市小浜1丁目1番11号
(3)設立年月日:1987/04/01
(4)ホームページアドレス:http://www.h3.dion.ne.jp/kousha/sub6.htm

2 資本金(公益法人の場合、基本金)

項目	金額(千円)、割合(%)
資本金総額	302,366
うち宝塚市の出資額	302,000
宝塚市の出資割合(%)	100

3 事業内容

①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催
②指導者の養成及びリーダーバンクの開設
③学校給食用物資の購入資金の出納に関する事業
④社会体育施設の管理運営の受託事業
⑤健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供
⑥その他目的を達成するために必要な事業

4 財務内容

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総資産	390,460	378,947	389,878
	負債	70,367	56,846	46,671
	資本	320,093	322,101	343,206
	累積欠損金	320,093	322,101	343,206

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		16年度	17年度	18年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	321,893	331,935	314,729
	経常損益	1,883	2,008	21,105
	当期損益	1,883	2,008	21,105
	減価償却前当期損益	1,883	2,008	21,105

※自主事業会計のみで計上していたので補正します。

※経常外収益を加えていたので補正します。

5 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①補助金(助成金)				
②利子補給金				
③税の減免額				
④その他()				
合計	0	0	0	-
(参考)委託料				

(2) その他

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	16年度	17年度	18年度	
①損失補償契約に係る債務残高				
②貸付金残高				本年度中の貸付状況:
③出資金	302,000	302,000	302,000	
合計	302,000	302,000	302,000	

6 市監査委員及び所管課による監査結果

市監査委員においては、出資金及び委託料は、目的に沿い、出納その他の事務についてもおおむね良好に執行されていると認められた。所管課においても、適正に事務が執行されていると認めた。
--

7 その他特記事項

--

注 公益法人については、「4 財務内容」の記入に当たって公益法人会計基準に読み替えること。

〈貸借対照表〉資本→正味財産の部合計

累積欠損金→正味財産の部合計

〈損益計算書〉損益計算書→収支計算書及び正味財産計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)→総収入(=当期収入合計+借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益→当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益→当期正味財産増減額

減価償却前当期損益→当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)